

科目コード	2688026	授 業 概 要
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	身近な自然から考える 生物多様性	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	トクダ マコト 徳田 誠 佐賀大学農学部教授	
日程実施時間	2026年4月25日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 2026年4月26日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室 一部の回は どんだんどの森 (佐賀県佐賀市天神三丁目)	
<p>【授業内容】 身近な生き物たちの不思議な生態や生き物同士の相互作用の理解を通して、生態系の仕組みや生物多様性について学びます。また、生物多様性や生態系を保全することの意義や、様々な地球環境問題に関して私たちはどんなことに留意すべきなのかを考察します。一部の回には、会場周辺での野外観察（フィールドワーク）も行います（荒天の場合を除く）。</p> <p>【到達目標】 生物間相互作用および生態系・種・遺伝子レベルの生物多様性に関して理解し、人類による開発や気候変動、侵略的外来種などが生物多様性に及ぼす影響について説明することができる。また、生態系サービスの概念を理解し、生物多様性の保全がなぜ必要なのか、保全するためにはどのような取り組みが必要なのかを説明することができる。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 地球はなぜ緑で覆われているのか：植物の被食防御戦略 第2回 生物間相互作用が産み出す生物多様性：植物と植食者の関係 第3回 宿主をたくみに操る生物たち：寄生者による宿主操作 第4回 生物たちの生き残り戦略：一見奇妙な行動の意味を理解する 第5回 生物多様性の危機1：地球温暖化が生物多様性に及ぼす影響 第6回 生物多様性の危機2：侵略的外来種が生物多様性に及ぼす影響 第7回 佐賀の貴重な生き物たち：森から海まで 第8回 生物多様性のこれまでとこれから：私たちにできること</p> <p>【学生へのメッセージ】 身近な生き物を対象とした研究成果を紹介しながら、生物多様性や生態系について一緒に考えてみましょう。生物に関する予備知識がなくても受講可能です。</p> <p>【受講前の準備学習等】 気候変動や侵略的外来種と生物多様性の関係について、また生態系サービスについてインターネット等で調べておいてください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 配布した資料を参考にして毎回の授業で学修した内容に関して復習を行い、理解を深めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 天候を見て、短時間野外に出て植物や昆虫の観察をする場合がありますので、活動できる服装や靴でお越しください（両日とも雨天の場合には室内学習のみとします）。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.5参照）</p>		